



お世話になっています。有意義な夏休みを。

6月後半から、最近までの学校行事等を写真で紹介いたします。

理科部会と保体部会では阿南市中学校教育研究会の研究授業を行いました。県の指導主事等をお招きし、授業後は研究会を持ちました。どちらの授業も「良い授業でした。」と言っていただきましたが、より良い授業づくりをめざして、今後も研鑽を続けてほしいと思います。

国語科では、学校間でZoomを使った交流授業という先進的な取組を実施しています。機器や通信環境について不具合が出ることが多く課題はあるものの、生徒同士の交流は実にスムーズで、生徒同士の有効な学びの交流が実現できていました。

防災訓練では、「地震の発生」を想定し、生徒たちには事前の連絡無しに実施しました。廊下で避難行動を取っていたり、頭の上を守る行動をしていたりと、自分で考え行動できていたように思いました。この日は、地震の揺れを感じる時間として1分間を確保しました。東日本大震災においては、実に3分以上揺れが収まらなかったそうです。災害時に子どもも大人も、適切な行動が取れるよう、我々も研修や訓練を怠らないようにしていかなければと思います。

さて明日からは長い夏休みが始まります。何かお困りの際などは、学校までご相談ください。また、三者面談お世話になります。ご多用の折ですがどうぞよろしくお願い致します。

6/22 1年生防災学習発表



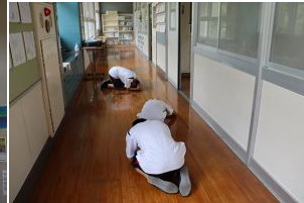
7/7 国語科交流授業



6/27 心肺蘇生法講習会



7/13 防災訓練(地震)



6/28 理科部会研究授業



7/3 保体部会研究授業



7/18 3年生租税教室



阿南光高校からひまわりの苗を寄贈していただきました。

阿南光高等学校産業創造科の先生方と生徒さんが来校され、新野キャンパスで地域クリエイト系列専攻科生が中心となって栽培したひまわりの花苗を寄贈して頂きました。贈呈式の後、本校生徒たちの手で、花壇に植えさせていただきました。



校内人権意見発表会

7月14日、校内人権意見発表会が行われました。体調不良で1名が欠席となり、各学年からの代表者5名が意見を発表してくれました。どの発表者についても意見内容も、発表態度も本当に素晴らしいものでした。当日欠席となった生徒の作文も読ませていただきましたが、この作文も1年生とは思えないほどしっかりとした文章で、感心いたしました。

また聞いていた生徒たちや会を運営したいじめゼロ人権部の皆さんの態度も素晴らしく、実に有意義な時間となりました。「講評」という形で、私にも感想をいう時間を頂きましたので、思ったことを喋らせていただきました。私は生徒の皆さんに次のようなことを話しました。

~~~~~  
先日、県内外の校長先生が300人ほど集まる会がありました。代表の方が研究発表を行い、その後その発表に対して意見を言う場面がありました。私は一番に挙手し、発表した方に対し感想を述べ、質問をしました。その場面を見ていた私の知り合いの校長先生は、「岡田先生は、あのような場面に挙手して発表できるのは勇気がありますね。」と言ってくれました。

しかし、これはまったくもって「勇気」などというものではありません。なぜなら私はただの「おしゃべり好き」なだけなのです。人前で意見を言うことに抵抗がないだけで、「勇気がある」わけではないのです。

私は最近、「勇気」について考えることがあります。私が最近考える「勇気」とは、「やりたくないことを懸命にすること。」だと思います。

今日発表してくれた、皆さんは「勇気」があります。きっと担任の先生から「とても良く書けているから発表してくれませんか。」と言われて、いっぱい勇気を出して発表してくれたのだと思います。だから私は皆さんは本当に「勇気」があり、素晴らしいと思います。

次は、今日の発表を聞いていた皆さん。皆さんが「仲間」として、この勇気に「どう答えるか」です。聞いていた皆さんは、この勇気にしっかりと答え、この新野中学校を「人権が大切にされる」より良い学校になるように、できることを考えてほしいと思います。

~~~~~  
私はこの日の発表者一人一人に「勇気を出したかどうか」聞いたわけではありません。でも発表者の作文内容から、発表するにあたって、「強い意志」や「勇気」が必要であったことは容易に推測できます。それほど、どの発表者の作文も力強いものでした。

発表会の後、発表者一人一人と話をしましたが、緊張して発表会に臨んだ様子が手に取るように伝わってきました。私は、指導した先生方に「みんな凄い発表でしたね」と伝えました。すると先生方は、本人の頑張りを称えながらも、「クラスが支えている」「仲間がいるから」という言葉を異口同音におっしゃいました。そして「1年生の時ならこんな発表はできなかった。」とか「本当に成長したなあ。」という先生方の言葉を聞いて、私も本当に嬉しくなりました。

一人一人の発表が素晴らしかったのは、本人の頑張りに加え、生徒たちが胸を張って発表できるための、仲間の存在や先生方の関わりや指導があつてのことだと改めて気付かされました。

残念ながら、今回の発表会は保護者の方々に聞いていただくことはできませんでしたが、発表者の保護者の方々は是非、お子様の勇気を労ってあげてください。また当日作文を聞いた生徒の保護者の方々は、どんな作文が発表されたのか、お子様に聞いてみていただければと思います。



いじめゼロ人権部による運営



発表の様子



感想を書く生徒たち

